

介護実務者研修科 カリキュラム

(大仙会場 R8.9.15～R9.3.17)

期 間		6 か月	
訓 練 目 標		介護現場の即戦力として活躍できる人材育成を目指し、介護サービスの実践的な知識及び技能を習得する。介護従事者としての職業倫理と豊かな人間性を養い、社会福祉及び関連領域の基礎知識と介護の知識・技術を習得する。	
仕 上 が り 像		介護の知識・経験の無い状態から、介護倫理、介護関連制度、介護に係る支援技術、医療的ケア技術の知識・技能を習得する。介護現場における接遇・ビジネスマナーや利用者との円滑なコミュニケーションを身に付ける。関連職種との連携を図り、実務者研修課程修了者としての介護業務ができる。	
訓練項目		訓練内容	時間
学 科	安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則	6
	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	6
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度	6
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度	30
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理	12
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	24
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	24
	介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	24
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	12
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	24
	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本	12
	認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	24
	障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児者や家族へのかかわり・支援の基本	12
	障害の理解Ⅱ	医学的側面からみた障害の理解、障害児者への支援の実際	24
	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）、経管栄養（基礎的知識・実施手順）	54
	こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の仕事の基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔）	24
	就職支援	訓練導入講習、ワークライフバランス講習、キャリアプラン作成講習、職務経歴書及び履歴書の書き方、面接対策、職業相談、ジョブカード作成支援、求人情報の活用、職業講話・キャリアコンサルティングなど各種支援	52
	実習前講習	介護現場実習に向けての心構え、記録の書き方、注意事項について	6
	実習後講習	介護現場実習後の振り返り、事例検討	6
学科計			382
実 技	生活支援技術Ⅰ	生活支援とＩＣＦ、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）、環境整備、福祉用具の活用等の視点	24
	生活支援技術Ⅱ	利用者の心身に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）	36
	介護過程Ⅱ	利用者の状態（障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察	30
	介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実際、介護技術の評価	54
	こころとからだのしくみⅡ（利用者の心身理解演習）	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕事、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）	60
	医療的ケア演習	喀痰吸引演習（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）、経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）、救急蘇生法演習 ※シミュレータ装置による演習となります。	30
	介護現場実習	施設・通所・訪問介護実習	60
	パソコンによる各種報告書類などの作成	パソコンを活用した報告書などの作成実習	18
	振り返り演習	理解が不足している科目の振り返りと職場での介護員の働き方についての演習	12
実技計			324
総訓練時間			706

※ カリキュラムの時間等は変更になる場合があります。